

平成28年度公益財団法人津南町農業公社の事業計画について

1 基本方針

担い手育成事業については、26年度から研修を行った2組が平成28年度から経営を開始する。また、27年度から1名が就農に向け地元農家で研修を行っており、今年が研修最終年で来年独立する予定である。農地幹旋等を関係機関と連携し、地域の担い手となるよう支援を行っていく。

新たな研修受け入れの予定はないため、平成29年度に向けて、就農希望者の確保に努めていく。

農作業支援事業として農地の耕耘、堆肥散布等の作業を代行することで、地域農業の労力を補完する。

農地保全事業として、公社が直営にて畑を耕作し、常勤職員が農作業に従事する。平成28年度に予定している保全管理地23.4haのうち12.1haにおいて球根養成、加工トマト、アスパラガス、にんじん(加工用、雪下)、さつまいも(シルクスweet)の作付けを行い、地域資源である農地の遊休化を防止するとともに、地域農業の活性化を図っていく。

その他、排水不良等の条件の悪い耕作地の改良や中耕等の管理を施していく。

農地利用集積円滑化事業においては、賃貸借契約が満了を迎えた農地について農地の効率的利用を図りながら、更新手続きを進め、担い手農家の経営規模拡大を支援していくこととするが、担い手の経営基盤強化を目的として設置された農地中間管理機構との連携を検討したうえで、より良い農地の効率的利用を図っていく。

2 事業計画

区分	概要	備考
担い手育成事業	受入予定者 : -名 受入先 : - 居住先 : -	研修1年目(-名)
	受入予定者 : 1名 受入先 : 農家 居住先 : 谷内ファームハイツ	研修2年目(1名)
農作業支援事業	耕耘等 堆肥散布	随時 9~11月
農地保全事業	保全管理の内訳(実作付け面積)	時期(播種~収穫)
	球根養成 1.4 ha	4~11月
	加工トマト 3.4 ha	4~9月
	加工にんじん 1.0 ha	5~11月
	雪下にんじん 1.0 ha	8~4月
	アスパラガス 4.3 ha	5~9月
	さつまいも 1.0 ha	5~11月
農地利用集積円滑化事業	事業実施面積 ()は内面積 公社借入面積 162.2ha(151.6) 公社貸し付け面積 138.8ha(128.6) 公社保全管理面積 23.4ha(23.0)	貸付者 44名